

「こころ」づくり（豊かな心の育成、社会性の涵養）取組事例

学校名	山形市立本沢小学校
実施期間	令和2年7月・令和2年12月、令和2年11月30日～12月4日
<p>〈6年生からの「ぶどう」、3年生からの「青菜漬け」〉</p> <p>地区の特産物を学校でも栽培し、収穫後に全校生にふるまう給食を行った。栽培学年は、自分たちが育てたぶどうや青菜漬けをおいしく食べてもらえたことに喜びを感じ、ごちそうになった他学年は、感謝の気持ちをもつことができた。</p> <p>〈お世話になっている方々に手紙の贈呈〉</p> <p>給食でお世話になっている方々に、メッセージカードを書いて、日頃の感謝の気持ちを表した。給食にはたくさんの人が係わっていて、その方々のおかげで安心して給食をいただくことができることを感じ取ることができた。</p> <p>〈絵本の読み聞かせ〉</p> <p>校内放送で、図書給食で紹介された絵本「おでんのおうさま」の読み聞かせを行った。子どもたちは給食のメニューに興味をもち、食べることができた。絵本はその後図書室で貸し出しを行った。</p>	

学校名	天童市立天童南部小学校
実施期間	令和2年4月～令和3年1月（特設期間：1月25日～1月29日）
<p>〈山川牧場での体験：2年生 学級活動・生活科・道徳〉</p> <p>校外学習として山川牧場での体験活動を設定し、事前学習を行った。山川さんから「命の循環とは、命あるもの→食べ物→ウンコ→土→豊かな自然→動植物を育むという流れ」であることを学んだ。わたしたちの体をつくっている食べ物は、もとは命あるものだったことに気づき、さらに、牛や豚、鶏は本来の寿命まで生きる前に殺され人間の食べ物になる事実を知った。牧場での体験学習では牛とふれあい、乳しぼりやバターづくりなどを行った。「やわらかい」「あたたかい」など命を感じることができた。そして、その動物の命をいただいて食べている自分に気づくことができた。</p> <p>〈冬の楽しみ：4年生 国語〉</p> <p>お正月にはお雑煮を食べることや七草がゆを食べることを学習した。お雑煮は地域によって、味付けやもちの形、具が違うことを知り、季節の行事と食事を結び付けて学習を進めた。</p> <p>〈すがたを変える大豆：3年生 国語〉</p> <p>大豆が、納豆やみそなどいろいろな工夫によって姿を変えて食品となっていることを学習し、各自、牛乳や卵等どのように工夫されているかを調べた。みんな興味をもって本を探し、調べたことを文章で表現することができた。</p>	

学校名	寒河江市立寒河江中部小学校
実施期間	令和3年1月15日（金）～21日（木）
<p>〈校長講話〉</p> <p>校長先生の思い出に残っている給食の話や、給食費を一生懸命働いたお金で払ってくれている保護者の方や毎日給食を作ってくれている調理師さんへの感謝についての話から、感謝の心で給食を食べようとする意識を高めることができた。</p> <p>〈災害時の食事の体験〉</p> <p>災害時を想定した食事内容・防災食「アルファ化米」の提供で防災意識を高めることができた。</p> <p>〈調理師さんへのメッセージ〉</p> <p>調理師さんへの感謝のメッセージを書いた。毎日おいしい給食を作ってくさっていることへの感謝、好きな給食、苦手なものが食べられるようになったこと等を伝えた。</p>	

学校名	河北町立谷地南部小学校
実施期間	令和2年12月9日（水）～15日（火）
<p>〈委員会の活動〉</p> <p>健康委員会が教職員に取材した内容で食に関するクイズを作り、校舎内に掲示して、クイズラリーを行った。答えがメッセージになるように工夫して、給食に対する興味関心を高めた。</p>	

学校名	大江町立本郷東小学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈献立の工夫〉</p> <p>東日本大震災を忘れないようにする献立や給食が始まった頃の献立を取り入れることで、給食を食べられることに感謝できるようにした。また、給食時に校長先生から給食が始まった頃のことや、「いただきます」「ごちそうさま」についてのお話をしていただいた。</p> <p>〈いのちのつながり〉</p> <p>5、6年生が山川牧場の山川氏のお話を通して「いのちのつながり」について学び、食材に対する感謝の気持ちを育てることができた。</p>	

学校名	尾花沢市立福原小学校
実施期間	令和2年11月30日（月）～12月4日（金）
<p>〈縦割り交流活動の実施〉</p> <p>縦割り班で豆つかみリレーを行った。これまでは1組の箸をバトンにしていたが、今年度は感染症対策として「マイ箸」を使用した。正しい箸の持ち方を教え合い確認したり、学年を越えて交流を深めたりすることができた。</p> <p>〈給食室の紹介〉</p> <p>給食を作っている様子から後片付けまでをDVDにまとめて紹介することで、毎日食べている給食への感謝の気持ちが高まるとともに、給食準備や片付けへの意識づけになった。</p>	

学校名	米沢市立関小学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈物語に出てくるごはんを食べよう〉</p> <p>児童が学校図書から物語を一人1冊選び、関連する食事を再現した給食を食べた。あわせて本の掲示や紹介も行い、「食の楽しみ」を感じられる取組みとなった。</p>	

学校名	米沢市立三沢東部小学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈インタビュー〉</p> <p>先生方の給食の思い出をインタビューしたことを放送して、給食への興味関心を育んだり、家族に「我が家のおすすめ野菜料理を教えてください」インタビューして、野菜や食への興味関心を育んだりした。</p> <p>〈学校給食の歴史紹介〉</p> <p>学校給食の歴史がわかる写真を掲示した。</p> <p>〈本の読み聞かせ〉</p> <p>P T A母親委員会による食に関する本の読み聞かせを通して、給食への興味関心を育んだ。</p>	

学校名	米沢市立第四中学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈委員会の活動〉</p> <p>給食委員会活動の一環として、親子給食を行っている興譲小学校の給食に関わってくださっている方、給食を運んでくださっている日通の方への感謝の気持ちを持ち、言葉に表す活動として今年度は短歌（5・7・5・7・7）の形で表現した。</p>	

学校名	高島町立糠野目小学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈地産地消給食の提供〉</p> <p>5年生の児童が畑作活動で栽培した大根を使用し、地産地消給食を実施した。児童は種まきから収穫、大根洗いまでの体験をしたことで、自分たちが関わったものを口にできる喜びを感じることができた。他学年の児童も、学校の畑で栽培された大根を残さず食べようとする姿が見られた。</p> <p>〈給食標語五・七・五の取組み〉</p> <p>4年生以上が給食標語を作成し、教室や廊下に掲示し、便りでも紹介した。この取組みを通して、児童の給食に対する意識が深まった。</p> <p>作品：「これからも 大事にするよ 好きな味」 「給食で おいしい笑顔の 輪をつなぐ」</p> <p>〈給食時のビデオ放送〉</p> <p>調理師の一日の仕事の様子（下処理、調理、後片付け）と食材納入者による野菜の納品の様子をビデオ放送で流した。普段見ることができない給食室の様子に、児童は興味をもって視聴していた。安全でおいしい給食ができるまでに多くの工夫や苦労があることを知り、感謝の気持ちが育まれた。</p>	

学校名	戸沢村立戸沢小学校・戸沢中学校
実施期間	令和3年1月18日（月）～22日（金）
<p>〈非常食体験給食〉</p> <p>献立：救給カレー・海藻サラダ・豚汁・手作りごまプリン</p> <p>10年前の東日本大震災のことや戸沢村が洪水などの災害が多いことから、災害時献立を食べながら、命を守る心構えを持たせ、非常食の備蓄の必要性を伝えた。</p>	

学校名	新庄市立萩野学園
実施期間	令和3年1月7日（木）～14日（木）
<p>〈給食の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食（七草、鏡開き）や沖縄県の郷土料理を実際に給食で提供し、放送でひとくちメモを紹介した。 ・3種類のだし（かつお、昆布、しいたけ）の味の違いを知ってもらうために、それぞれのだしを使ったみそ汁や合わせだしのうどんのつゆを給食で提供した。それぞれのだしの特徴や食べ方について、実物を掲示し、紹介した。 	

学校名	最上町立最上中学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈様々な地域の郷土料理を味わおう〉</p> <p>期間中は、最上町を代表する料理（いわなの唐揚げなど）の他に、金山町給食、沖縄県給食、北海道給食、秋田県給食を味わった。最上町だけでなく他の地域の食材や料理を味わうことで、町内の食材の良さを再発見したり、他の地域の特産物に対しての理解を深めたりした。栄養教諭が作成した、それぞれの地域の情報が盛り込まれている給食メモを給食室前に掲示した。</p> <p>〈食料自給率を知ろう〉</p> <p>学校給食週間中の山形県食料自給率を知り、山形県内の食材にどのようなものがあるかを意識して食べることができた。</p>	

学校名	鶴岡市立羽黒小学校
実施期間	令和2年12月7日（月）～11日（金）
<p>〈給食への興味関心〉</p> <p>「大黒様のお歳夜献立」や「鶴岡産有機米給食」など、昔から大切にされている習慣や庄内地方に伝わる行事、昔の人の知恵や願いがこめられた献立や食材について紹介し、地域に伝わる伝統食について知ることができた。</p> <p>おうちの人に小学校の給食の思い出（好きだった、もう一度食べたい給食等）を手紙に書いてもらい、掲示した。子どもたちは関心をもって見ていた。</p>	

学校名	鶴岡市立温海中学校
実施期間	令和2年5月11日（月）～令和3年3月15日（月）
<p>〈地産地消情報〉</p> <p>毎月「地場産情報」として情報誌を発行し、給食に使用される食材の生産者を紹介した。10月には「実りの秋キャンペーン」を実施し、生産者へのイラスト&メッセージを募集、冊子を作成して生産者へ送付し、感謝の気持ちを伝える活動を行った。</p>	

学校名	県立楯岡特別支援学校寒河江校
実施期間	令和2年11月25日（水）～27日（金）
<p>〈乳しぼり体験をしよう〉</p> <p>牛乳は牛の乳から作られていることを学び、教材で乳しぼり体験をした。感謝して残さず飲むように伝えた。</p>	

学校名	酒田市立広野小学校
実施期間	令和2年11月11日（水）～25日（水）
<p>〈食に関わる人への感謝の気持ちを育む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日の給食の際に給食主任が放送で「フードロスの現状」「姿勢よく食べるなどマナーを身に付ける」について説明した。 ・児童健康委員会で「KKT（心を育む・給食週間クイズ・タイム）」を給食の時間に放送し、クイズを通して郷土料理についての理解を深めるとともに、調理員の仕事の内容に触れて、感謝の気持ちが持てるようにした。 <p>〈食に関する文化を理解し、作法を身に付ける〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームそばの廊下に、食品模型の「給食の歴史（山形県学校給食会）」を展示し、年代ごとに給食に携わる方々の思いを掲示して、食文化についての理解を深まるようにした。 ・栄養教諭による2、3年生の栄養指導で「食事マナー」を学習した。「正しい茶碗の持ち方はどれか」「正しい箸の持ち方はどれか」「正しい食事マナーはどれか」等を、イラストの間違い探しを通して学んだ。その後、「姿勢よく食べると胃腸が圧迫されないのでよく働くようになる」等、正しい食事マナーの効果を学んだ。2年生には豆つかみセットを一人一人に用意して、いろいろな豆を正しい箸の持ち方でつかむ体験をした。自己目標を立てて1週間チャレンジする取組みも設定して、食事マナーについて振り返るよい機会になった。 ・栄養教諭による4年生の栄養指導で「地産地消（郷土の食品）」を学習した。クイズを通して日本各地の郷土料理を教えてもらい、さらに、スーパーのチラシから、山形県の特産物を探す活動を通して、その種類の多さや特産物を食べることへの良さを学んだ。 ・栄養教諭による5年生の栄養指導で「伝統食のよさ（和食）」を学習した。山形市の「いもにフェスティバル」の写真の掲示で「なぜ、毎年山形でいもにフェスティバルがあるの？」というテーマを探究する形で授業を展開した。全国と山形県の郷土料理をグループ学習で出し合い、「郷土料理はその土地の気候や文化を生かし、保存食としても伝わった、昔から受け継がれてきた料理で、料理は形が残らないので、受け継いでいかないと途絶えてしまうこと」を学んだ。 ・JA山形から提供を受けた食育ランチオンマットを全児童に配付した。その際「箸の持ち方」「栄養バランス」について指導した。さらに家庭でも使用してもらうため、保健だよりも、その様子を掲載した。 	